

消費税は何%まで上げられるか

tarousan

国難なのか

野田総理は消費税増税に反対する党議員に対して、国難から逃げる者と言うが、消費税を上げることが国難から逃れる唯一の方法なのか。そもそも今、国難なのか。国の収入が支出に追いつかない。国債が膨大になっている。

しかし、それなら、なぜ増税の理由をそれにしないのだ。どうして社会保障と一体化と必ず言うのだ。税を上げねば、国がつぶれるというのなら、本当にそうなら、反対できる者はいないだろう。

国難がきているのなら、社会保障のことをなぜ言うのだ。国を挙げて難を切り抜けるのが、第一だろう。本当は、税を上げて、バラマキをやることになるのではないのか。

一体化と一つ覚えのように言っていたが、増税以外はあっさり野党に譲ってしまった。本音が出たのだ。目的は増税だけだったのだ。社会保障はどうでもよかったのだ。一体化は目くらましだったのだ。

増税しないことが、逃げることになるのではない。増税すればなんでも解決するのなら、こんな簡単なことはない。増税すれば、消費が落ちる。そうなれば、税収も計算どうりにはいかない。生活保護を受ける人たちが急増する。社会保障費がふえる。

総理は将来のために増税すると言ったが、将来はさらにその上に税率が加算されるに決まっている。今税率を上げておけば、もう上げなくて済むわけではない。そして、消費税とはいったい何%まで上げることができるのだろうか。20%の国では、社会保障が行き渡っていたということだったが、やはり維持ができなくなったようだ。次は30%しか選択肢はないのだろうか。そんなふうにとどこまでも税率を上げていくのだろうか。上げていけるものだろうか。どちらが、将来のことを考えているのか、いないのか。